

新型コロナ対策の強化を

とや英津子都議、日本共産党練馬区議団

練馬区に
緊急要望



●区に「新型コロナ肺炎対策の緊急申し入れ」を提出に向かう、とや英津子都議と日本共産党練馬区議団ら

区に提出した緊急要望書の要旨

新たな流行の段階の今、潜伏期間中に人から人への感染が広がる危険性があることをふまえて、対策を抜本的に強化することが必要です。

とくに、練馬区は全都2位の74万人余の人口ですが、医療体制は23区で最も不十分です。

他地域以上に、感染の広がりを早期に抑え込む積極的な対応が求められています。

区民の健康・いのちは練馬区が守るという立場にたった対応を強く求めます。

●感染の拡散を前提に、区内の医療機関に対し高温発熱・肺炎の症状の患者数の把握、必要なウイルス検査の実施、的確な医療対応の徹底を。

●重症化する可能性の高い患者の早期発見と、入院・治療体制の点検・抜本強化を行なうこと。

新型コロナの流行が新たな局面に

感染経路が不明の患者の発生が相次ぎ、流行は新たな段階に入りました。共産党都議団は、2月14日「新型コロナ肺炎対策に関する緊急申し入れ」を小池都知事宛に提出しました。

さらに2月25日、とや都議は区議団とともに、練馬区に区民のいのちと健康を守るために、総力を挙げた緊急対策の実施を求める要望書を提出しました。

区民の健康、いのちを守るため総力を

医療体制が23区で最も不十分な練馬区は、他地域以上に、感染の広がりを早期に抑え込む積極的な対応が重要になっています。

●発熱した時のルールは分かりにくい。感染予防等、正確な情報提供を強化し、理解を進めよ。

●区の窓口業務などでの区民対応と予防に必要な機材(石鹼や消毒用アルコール)の設置、保健所や病院など医療従事者への医療用マスクや手袋、防護服など必要最低限の準備と必要な薬品などの確保と配布、現場職員に対する説明と徹底など全庁的な取り組みを行うこと。

●濃厚接触の場となる学校や、特養ホーム、デイケア、保育園などは、患者の早期発見と検査、治療への特別の対策をたてること。

●長時間・密閉した場所での区行事は再検討を。
●新型コロナ肺炎対策として必要な費用は、当面今年度の補正予算を組むとともに、来年度の補正予算も編成すること。

●新型肺炎の練馬区電話相談窓口 03-5984-4761 平日午前9時～午後5時迄

接触者相談センター 午前9時～5時 上記、平日午後5時～翌午前9時、土日祝日 03-5320-4592

区民の声を都政に届ける

ご意見ご要望をお寄せください

とや 英津子 日本共産党都議会議員
ニュースレター

練馬区桜台1の6の11 電話：03-6324-8060 fax：03-3948-0153

●Twitter/Facebookは「とや英津子」で検索下さい。 2020年3月



都議会 文教委員、オリ・バラ対策特別委員会委員など